

脚本の読み方

・柱（○）で書かれた部分）

場所、時間、回想、などが書かれています。

例

○ □□中学校・3年1組教室（夕方・回想）

↓この柱は、場所は□□中学校の3年1組教室で夕方の回想シーンである事を表しています。

○ 同・校庭

↓『同』というのは、前の柱と同じ場所である事を表しています。つまりこの柱は、□□中学校の校庭であるという事を表しています。特に（ ）が柱の下についていない場合は、昼を表しています。

・ト書き（柱とセリフ以外の部分）

人の行動、周りの情景、などが書かれています。脚本では映像として映せるものだけが書かれるので、登場人物の感情が書かれないのが特徴です。

・セリフ（「」で書かれている部分）

登場人物が話すセリフが書かれています。時々、「」内に○でセリフの言い方などが書かれています。

例

裕樹「（囁くように）ありがとう」

・その他

× × ×

時々、脚本内には×が二つ立って続けに書かれています。これは、ある程度の時間が経過した事を表しています。

登場人物が初めてト書きに登場する場合は、名前の下に○で数字が書かれています。これは、その登場人物の年齢を表しており、2回目以降の登場では年齢は書かれません。